



西早稻田中だより

新宿区立西早稻田中学校 03(3205)9674

「新時代を生きる力」

校長 塚本 桂子

現代はAIの時代であり、それにより世の中が激しく変わりつつあります。またこれからの近未来の社会として「Society5.0」（超スマート社会）という言葉も頻繁に言われています。どのような社会なのでしょう。

1.0から順に言えば、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に次ぐ社会が「Society5.0」＝超スマート社会です。具体的には「インターネットで全ての人とモノがつながり新たな価値が生まれる社会」「イノベーションにより様々なニーズに対応できる社会」「AIにより必要な情報が必要な時に提供される社会」「ロボットや自動走行などの技術で人間の可能性が広がる社会」などと表現されています。私が幼い時から考えると、夢のハイテク社会という印象を受けます。今の中学生が社会に出て活躍するのはこのような社会なのでしょう。

時代の変化とともに、学校では「社会に開かれた教育課程」を編成し、確かな学力、豊かな心、健やかな体のバランスのよい教育を推進しています。その中核となるのが「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力の育成」「学びに向かう力・人間性等の涵養」の3つの資質・能力です。このような資質・能力を中学生一人ひとりに確実に身に付けてもらうために、学校の教育目標に位置づけ教育活動を展開しています。これは教科指導のみならず、相互に関連付けることで全教育活動で取り組んでいます。

本校教職員は主体的な学び、対話的な学び、深い学びとなるように授業改善に取り組むとともに、これらの学習の基盤となる言語活動、情報活用能力、問題の発見・解決能力の育成を重視し授業を進めてまいりました。そのために研修を深めております。新年度も継続し、社会に対応できる資質・能力の育成を図ってまいります。

コロナ禍での制約はありましたが、本年度1年間を通して、生徒の皆さんが実りある学年末を迎えられることに感謝し、保護者の皆さまにおかれましては、本校の教育活動へのご理解とご支援に厚く御礼申し上げます。

作品展

1月21日（土）に作品展を実施しました。当日は保護者の方々も多く来校していただき、各教科の学習の成果を見せることができました。生徒の見学時間は1時間程度と短い時間でしたが、どの生徒も真剣に見学する様子が見られ、見学後の振り返りシートでは「もう少し長く見学したかった」や「先輩たちの作品を見ることで勉強になった」といった言葉が多く見られ意欲を感じました。

（作品展担当：S）



校外学習 1年

1学年では、東京の歴史や伝統に関する知識を深め、文化・経済・防災・科学技術・国際理解の観点から改めて「東京」を知ることを目的に、1月27日（金）に校外学習を行いました。各クラス、6班に分かれて自分たちでコースを決めました。この時、決められたチェックポイント（城北コースは国立科学博物館、城南コースは東京タワー）の他に、科学技術館、日本科学未来館、ガスの科学館、そなエリア東京、気象庁科学館、警視庁、地震の科学館、本所防災館といった体験・見学施設を必ず1つ巡ることとし、そこからさらに見学施設（東京国立博物館、近代美術館、オリンピックミュージアム、パナソニックセンターなど）を1つ、



神社仏閣を2つ以上コースに盛り込み、計画を立てることとしました。お昼ご飯のお店も、各班が自分たちで決めました。

11月下旬から始めた事前学習・コース決めでは、生徒たちが各々に、地図や時刻表とにらめっこをしながら工夫をこらし、途中で投げ出すことなく頑張っコース表を作成していました。また、冬休みの宿題として出された、訪問先施設・寺社仏閣の説明・紹介スライドも各自が工夫をこらし、班員に発表をすることができていました。そのため、班員たちも共通の知識や認識を持って、当日は施設・寺社仏閣訪問ができていました。



当日、全ての班が無事に出発をすることができました。道中、多少のトラブルが発生した班もあったようですが、班長を始めとする班員たちが機転を利かせて上手に対応することができていました。時に道に迷い、時に時間に遅れないように走りながらも、それぞれが「『東京』の再発見」を意識して見学や体験を行うとともに、ルールやマナーを守ることの意義や協力の大切さを肌身で感じたようです。最終チェックポイントの学校には16時半までに帰校することと決められていましたが、誰一人遅れることなく、戻ってくる事ができていました。その時の生徒たちの顔は疲れもありましたが、計画を遂行すること、自分たちだけでやり遂げたことに対する満足感で、どこか晴れやかな顔つきでもありました。

事後学習は、「楽しかった」という思いだけでなく、実際に自分たちの目で見て体験したことを報告するとともに、そこで得た知識を日常で生かすことの大切さについてなどにも気付いている様子でした。今回の校外学習で、一回りも二回りもたくましく成長できました。この経験を糧に、2年生に進級してほしいと思います。
(担当：K)

スキー教室 2年

2月1日より2泊3日で、女神湖高原学園へスキー移動教室に行きました。現地は銀世界に包まれ、生徒たちも普段はできない経験に感動していました。





実行委員（学級委員）の生徒が、事前に時間をかけて準備、計画を行い、生徒の先頭に立って行動をしたため、当日はスムーズな行動や、決まりやマナーを意識した生活が送れました。もうすぐ進級し、最高学年になるという状況を前に、とても素晴らしい生活態度でした。そのような気持ちに添えてくれたかのように、新宿では体験することのない鮮やかな白銀の世界の中、いいグレンデコンディションでスキー実習を行うことがで

きました。生徒達はインストラクターさんたちの指示のもと、元気に、楽しくスキーを行うことができました。この経験を通して、みんなで良い学年を作っていく意識を高めることができました。（担当：K）



卒業を前に

3学年の皆さんとの学校生活は休校から始まりました。学校がようやく再開されても分散登校が続きました。アルファクラスが3時間の授業を終えて、給食を食べるころ、ベータクラスが登校してきました。同じクラスにいても、会えない日々。3時間授業と給食。それが学校生活の全てでした。「当たり前」がどんなに有り難く、そして嬉しいものなのかをつくづく思い知らされました。普通教室で普通の授業が始まった時の喜びは忘れられません。

2年生になってようやくできた運動会や校外学習のなんと感動的だったことか。3年になり、開会式から行った運動会、ムカデヤ全員リレーでゴールに向かう皆さんの顔がどんなにまぶしかったことか。修学旅行で、皆さんの楽しそうな顔がどんなに嬉しかったことか。そして西早稲田祭での合唱がどんなにその場にいた人の胸を震わせたことか。

そうやって皆さんと共に生活できたことが、私の喜びです。今思えば、あの不自由な日々がかえって後半の中学校生活を輝かせたように思えます。私自身も、今までにないような困難をこの学校の先生方、主事さん方と協力し、知恵を絞り、乗り越えたことが今では良い思い出です。卒業する皆さん、これからも全て順風満帆の人生というわけにはいかないでしょうが、この3年間の経験を忘れず、苦勞の先にはいいことが待っているという希望を胸に自分の人生を創ってってください。皆さんの未来が輝かしいものでありますように。

卒業おめでとうございます。（3学年主任 T）

